

# 都中英研だより

第 51 号

東京都中学校英語教育研究会  
会 長 備里川 正人  
(足立区立第六中学校長)

## 更なる前進を目指して

東京都中学校英語教育研究会  
会 長 備里川 正人

### I. はじめに

5月18日の都中英研の総会をもって、前会長太郎良博先生より、会長を引き継いだ足立区立第六中学校長の備里川正人（びりかわまさひと）と申します。どうぞよろしく願いいたします。

まず最初に、会長として4年間の激務を遂行された前会長の太郎良先生の功績を振り返ってみたいと思います。

数多くの改革の中で、主なものでも全中英協の発展解消、全英連との組織改善（高校部会と中学部会の設立。会長選挙他）や都中英研にプロジェクトチームの新設など、どれをとっても太郎良先生でなければ解決できないものばかりでした。

これらの課題に情熱と信念をもって取り組まれた太郎良先生に敬意を払い、その意志を受け継ぐ私たち後輩は、責任の重さを今痛感いたします。

### II. 平成18年度の行動目標

21世紀における中学校英語教育のなお一層の充実・発展を目指して、以下の行動目標を総会で確認しました。

1. 組織の充実とその活性化を積極的に図る。
  - (1) 都中英研の組織がより強固になるよう充実を図り、改善する。
  - (2) 都中英研の各種事業に、より多くの教員や学校が参画し、活性化を積極的に図る。
2. 財政基盤の充実を積極的に図る。
  - (1) 従来の事業内容を見直し、経費の節減を積極的に図る。
  - (2) 新たな事業の展開を積極的に行い、収入源の確保を図る。
  - (3) 会費制の導入について、積極的に検討する。
3. 人材の育成を積極的に図る。
  - (1) 有能な人材を発掘し、リーダー層の育成を積極的に図り、英語教員全体の資質向上

を推進する。

- (2) 教員の資質向上を目指した研修事業を積極的に遂行する。

4. 調査・研究機関の充実を積極的に図る。

- (1) 英語教育に関わる基礎的事項や活動実態についての調査・研究活動を積極的に遂行する。

- (2) 英語教育に関わる今日のかつ実践的な課題についての研究活動を積極的に遂行する。

5. 英語教育に関わる関係機関や関係団体との連携を積極的に図る。

- (1) 「全英連中学校部会」を「全中英協」に代わる組織として積極的に改善・充実を図る。

- (2) 文部科学省や東京都教育委員会との関わりをより充実させる。

- (3) その他、英語教育に関わる関係諸団体との関わりをより充実させる。

6. 英語教育に関わる各種情報の収集ならびにその発信を積極的に図る。

- (1) これまでの広報媒体を活用して、各種情報の発信を積極的に行う。

- (2) H. Pの活用を図り、それを通して各種情報の受信や発信を積極的に行う。

### III. さいごに

英語教育界では、昔から色々な論争が生まれては、その都度話題となりました。

新しいところでは、お茶の水女子大学の藤原正彦教授と国際教養大学の中嶋嶺雄学長との“小学校の英語必修化”論争です。また、“英語第2公用語論”などは、古くて新しい論争です。

論争ではありませんが、英語教育における中高連携はもとより、小中連携も大事な問題です。

私たち中学校の英語教育に携わる者は、職責の重さを感じ、多くの課題解決のためにはたえず研修・研究に励まなければいけません。都中英研は常に前進を目指す組織でありたいと考えます。



# 都中英研総会開催される

平成18年度東京都中学校英語教育研究会

## 定期総会



〈都中英研総会〉



〈都中英研役員一同〉

平成18年度の都中英研総会が、5月18日(木)神楽坂エミールにおいて開催された。太郎良 博会長(前江戸川区立葛西中学校長)の挨拶、平成17年度の各部の事業報告、決算報告監査報告に続き、平成18年度の事業計画案が提案され、承認された。今年度より備里川正人新会長のもとで都中英研は新しいスタートをきることになった。平成18年度、都中英研の役員は次の通り。

## < 役員紹介 >

役 職	氏 名	所 属 校	職 名
会 長	備里川 正 人	足立区立第六中学校	校 長
副 会 長	坂 下 孝 憲	大田区立馬込中学校	校 長
"	鬼 原 芳 枝	江戸川区立小岩第四中学校	校 長
"	中 村 馨	文京区立第十中学校	校 長
"	本 庄 文 男	足立区立谷中中学校	校 長
"	山 本 展 子	江東区立第二大島中学校	校 長
"	清 水 研 一 郎	江東区立深川第五中学校	校 長
"	加 藤 良 則	江戸川区立松江第四中学校	校 長
"	田 幸 徹	足立区立花畑北中学校	校 長
"	大 野 容 義	昭島市立清泉中学校	校 長
総 務 部 長	飯 島 光 正	豊島区立西池袋中学校	校 長
事 業 部 長	横 山 達 也	多摩市立和田中学校	教 諭
調 査 部 長	廣 田 幸 男	小平市立花小金井南中学校	校 長
研 究 部 長	北 原 延 晃	狛江市立狛江第一中学校	教 諭
出 版 部 長	井 田 宗 宏	東久留米市立東中学校	校 長
P T 部 長	安 原 美 代	三鷹市立第三中学校	校 長
経 理 部 長	牛 島 順 子	港区立港陽中学校	副校長
情 報 管 理 部 長	石 川 賢 司	墨田区立墨田中学校	副校長
会 計 監 査	和 田 雅 光	足立区立第四中学校	校 長
"	稲 葉 秀 哉	板橋区立板橋第三中学校	校 長
"	竹 下 賢	渋谷区立松濤中学校	校 長

# 都中英研コミュニケーションテストを実施します！

## 1. コミュニケーションテストの目的と特徴

- ① 2・3年生の9月末までの履修範囲で、各領域別に到達度を測り、東京都全域で実施し、全都内参加校の平均点を示すことのできるテストです。
  - ② 「テスト問題は授業の裏返し」、「評価は授業の道しるべ」と考え、コミュニケーションな授業の内容を生かし、実際の言語の使用場面での運用力を測ります。
  - ③ 5領域別に、何を測るかというねらいを明確にして問題を作成するので、観点別評価をつける時に評価材料となります。  
5領域 Listening, Reading … [理解の能力]  
Writing … [表現の能力]  
Grammar, Vocabulary … [言語や文化についての知識・理解]
  - ④ 領域別に結果が診断されるので、生徒の反省点・指導の改善に役立ちます。
  - ⑤ 実際の生活場面を考慮し、そこで使われている言語をできるだけ多く扱います。また、自らの考えを表現する文は複数の解答許容範囲を設けています。
2. 対象学年 2年・3年生
  3. 出題範囲 原則として、9月末までの履修範囲とする。(原則として都内で使用されている主要教科書の言語材料に共通したのから出題)
  4. 実施期間 10月上旬～11月上旬
  5. 所要時間 50分(リスニングテスト10分前後を含む)
  6. 送付資料 生徒へ 成績個人表(観点別評価も)、学習の手引き  
先生へ 出題のねらい、参加校の都平均点・分布表、結果報告書
  7. 申込期間 5月下旬～9月中旬
  8. 申込方法 申込書を送ってください。(都交換もしくはFAXで)

送り先  
問い合わせ先

〒187-0003 小平市花小金井南町1-9-1  
小平市立花小金井南中学校 校長 廣田 幸男 宛  
TEL. 0424-65-0451 FAX. 0424-65-0410

9. 代 金 一人250円  
(内訳・問題作成・答案処理・集計や分析・録音・報告書作成など)
10. その他 送金方法・事後処理などは参加校が決定後お知らせします。

## 今年度は東京で全英連大会が開催されます

- 期 日：平成18年11月25日(七)～26日(日)
- 会 場：第1日(11月25日) 昭和女子大学人見記念講堂  
第2日(11月26日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 日 程：第1日 平成18年11月25日(土) 9:30～16:30 総会・講演・全体会発表  
講演 講師 Dr. Richard Cauldwell (元英国 Birmingham University)  
演題 'Pronunciation for Speaking and Listening: Making the most of your textbook'  
全体会発表 高等学校の部〔授業実演〕  
中学校の部〔ビデオによる発表〕本多敏幸教諭(江東区立深川第八中学校)
- 第2日 平成18年11月26日(日) 9:30～ 分科会  
中学校の部
- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. Speaking (PreparedやImpromptu) の指導と評価 | 小菅 敦子教諭(学大附属世田谷中学校)   |
| 2. Readingの指導と評価                        | 伊知地義信教諭(豊島区立西池袋中学校)   |
| 3. Listeningの力をつける指導と評価                 | 岡崎 伸一教諭(品川区立日野学園中学校)  |
| 4. Writingの指導とその評価                      | 福島 恵子教諭(練馬区立光が丘第三中学校) |
| 5. 基礎学力をつける指導と評価                        | 花田佐和子教諭(杉並区立和田中学校)    |
| 6. 観点別評価の問題点と課題                         | 杉本 薫教諭(江東区立東陽中学校)     |
| 7. 効果的な選択授業について                         | 佐藤 順一教諭(江東区立南砂中学校)    |

# 平成18年度 中英研年間事業計画

中英研では英語教育の振興を図ることを目標に、次のような事業を実施しています。指導技術や識見の向上を目指し、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

平成18年度総会・各部会 (総務部) 5月18日(木) 神楽坂エミール

## 英語指導技術向上のために

第23回中英研授業研究会(事業部)  
9月中旬を予定  
授業者については検討中

第8回サマーワークショップ(事業部)  
8月17日(木)  
文京区立第一中学校

夏休みの語り指導ワークショップ(研究部)  
第1回 8月2日(水)品川区立日野学園中学校  
第2回 8月3日(木)狛江市立狛江第一中学校  
第3回 8月22日(火)江東区立第二南砂中学校

中英研研究発表会(研究部)  
平成19年2月23日(金) 会場は検討中

## 指導の成果を確かめるために

中英研コミュニケーションテストの作成・実施・報告書作成(調査部)  
8月問題提示 10月~11月実施  
2月報告書配布

## 定期刊行物の発行

中英研だより[年2回51号、52号](出版部)  
中英研会報 65号

## 英語の発表会

第59回英語学芸大会(事業部)  
12月3日(日) 私立宝仙学園中学高等学校

## その他の研究会・協議会

都教育委員会主催事業への参加・協力  
全国英語教育研究団体連合会中学校部会(神楽坂エミール) 7月27日(木)  
十四大都市公立中学校英語教育研究会連絡協議会(大阪大会) 10月13日(金)  
関東甲信地区中学校英語教育研究協議会(千葉大会) 11月17日(金)  
全国英語教育研究団体連合会研究大会(東京大会) 11月25日(土)~26日(日)

## プロジェクト研究についてのお知らせ

昨年度より都中英研では、プロジェクト・チームを設置し、中学校英語教育における喫緊の課題について調査・研究を行っています。まず、調査を主に行い、その分析を通して課題やその解決の方向性をまとめたり、提言をしていきます。具体的には次のような内容を考えています。

・小学校英語活動 ・少数者英語授業 ・習熟度別英語授業 ・ALTの現状と課題  
・英語科選択授業と課題 ・英語の授業と関連させた総合的な学習の時間の工夫 などです。  
関心のある先生方はぜひ、ご連絡を下さい。

### ◇出版部より

本年度も授業研究を中心に実践的な活動報告の特集を企画しています。日常の授業に役立つ先生方のちょっとした工夫をぜひ出版部までご紹介ください。

連絡先：東久留米市立東中学校 井田 宗宏 (Tel&Fax 042-472-7995)